

【訂正】2020年11月5日 本文15～16行目を以下の通り訂正

(訂正前)安心と希望の会議ビジョンの策定

(訂正後)安心と希望の介護ビジョンの策定

2020年11月4日
パナソニック株式会社

パナソニック元社長・会長 中村邦夫が旭日大綬章を受章

パナソニック株式会社 元社長・会長の中村邦夫は令和2年秋の叙勲において、日本の製造業の発展への貢献と国家行政に寄与したことを称えられ、旭日大綬章を受章しました。

中村は、入社以来、長年にわたり家電営業部門およびAV事業などに携わり、2000年の社長就任後は、「破壊と創造」を掲げ家電流通改革はじめグループ5社の完全子会社化など大胆な事業再編・構造改革を断行、ITバブル崩壊後巨額赤字に陥ったパナソニックグループを二十一世紀型の製造業へと導きV字回復を果たすとともに経営理念に基づき創業者哲学の柱をなす「社会の公器」「お客様大事」「日に新た」の現代的実践を率先徹底し 環境重視経営の礎を築きました。

さらに社団法人日本経済団体連合会においては、副会長として日中経済関係の発展に尽力するとともに、経済法制の整備や道州制の推進などに取り組みました。また、第29次地方制度調査会会長をはじめ、国家の「IT新戦略」「アジア・ゲートウェイ構想」「消費者庁の新設」等への提言のほか、通商政策の策定、知的財産権の保護、科学技術分野を将来担う人材の育成、教育費の問題から安心と希望の介護ビジョンの策定に携わるなど、産業界だけでなく国家全体に関わる政策提言に尽力しました。

<受章者のコメント>

このたびは、旭日大綬章という過分な栄誉を賜り、光栄に存じます。これもひとえに今までご指導・ご支援いただいた社会各方面、業界の方々、会社の上司、先輩、社員をはじめ、多くの関係の皆様のおかげと心から感謝いたしております。

ITバブルの崩壊など想像を超える世界的な市況悪化の中、構造改革を加速し、V字回復を成し遂げることができましたのは、パナソニックグループに携わる全員が、心を一つに取り組んでいただいた結果であり、皆様に支えられて達成できたことは、この上ない幸せであったと感じています。

また、産業界の問題だけでなく、多岐にわたる国家課題の提言策定に参画し、日本をはじめ関係各国の皆様の豊かなくらしの実現に些かでも貢献できましたことは、望外の喜びであります。政府関係者をはじめ、関係の皆様方に、心より感謝申し上げます。

今回の栄誉は私個人が頂戴したのではなく、関わったすべての方を代表していただいたものと受け止めております。この受章を励みとして一層精進し、社会の発展にお役に立つよう、引き続き微力を尽くしてまいります。

令和2年10月1日

なか むら くに お
中 村 邦 夫 略 歴 (81歳)

<生年月日> 昭和 14年 7月 5日

<出身地> 滋賀県

<最終学歴> 昭和 37年 3月 大阪大学 経済学部 経済学科 卒業

<職歴> 昭和 37年 4月 松下電器産業株式会社(現パナソニック株式会社)へ入社
昭和 60年 11月 同社 家電営業本部 首都圏家電総括部
東京商事営業所 所長
昭和 62年 9月 アメリカ松下電器株式会社
パナソニック社 副社長
平成 元年 4月 同社 パナソニック社 社長
平成 4年 6月 イギリス松下電器株式会社 社長
平成 5年 6月 松下電器産業株式会社 取締役就任
米州本部長
平成 5年 10月 同社 北米本部長
平成 8年 6月 同社 常務取締役に就任
平成 9年 6月 同社 専務取締役に就任
AVC社社長
平成 12年 6月 同社 代表取締役社長に就任
平成 18年 6月 同社 代表取締役会長に就任
平成 24年 6月 同社 相談役に就任
平成 30年 6月 同社 特別顧問に就任
令和 2年 3月 同社 特別顧問 退任

以上